

令和4年度三重県沿岸種資源評価 イセエビ



資源水準・動向

中位・減少

生物情報

- ・産卵期は5～7月で、産卵場は親エビが分布する岩礁域、浮遊生活は約1年間。
- ・満2歳で頭胸甲長42～45mm、満3歳で頭胸甲長56～62mm、満4歳で尾叉長65～74mmなる。
- ・肉食性で、小型の甲殻類や貝類等を餌にして成長する。

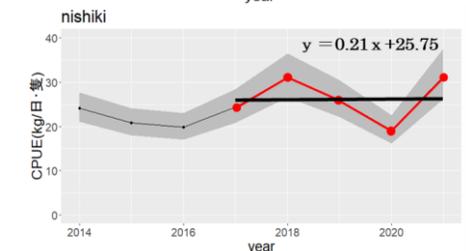
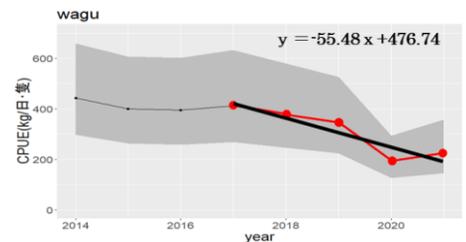
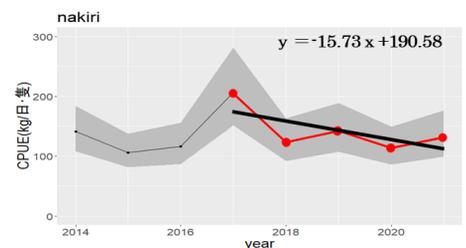
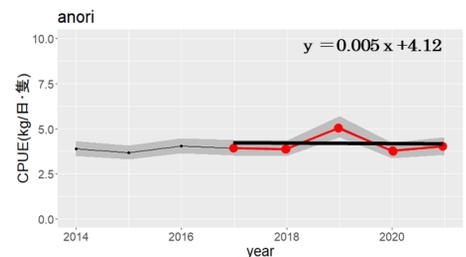
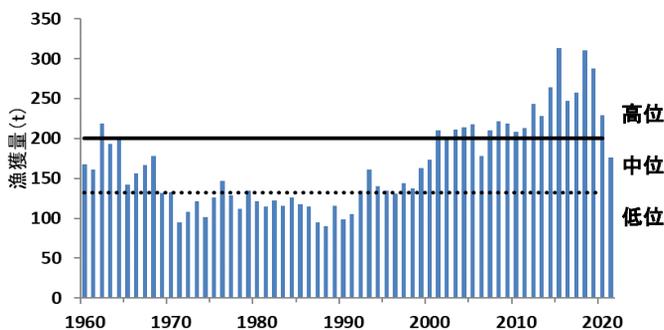
漁業の特徴

- ・漁獲のほとんどが伊勢湾口から熊野灘海域で、刺し網で漁獲される。
- ・漁期は10月1日～4月30日（鳥羽市離島地域以北の海域では9月16日～4月30日）
- ・漁獲の主体は満3歳。
- ・市町別漁獲量では志摩市が最も多い（県内漁獲量の40%：2021年）
- ・銘柄別（小、中、特大等）に分けられて水揚げされる。



資源状態

- ・漁業・養殖業生産統計年報による三重県漁獲量の推移から、資源水準は「中位」とした。
- ・三重外湾漁協の安乗・波切・和具・錦地区の刺し網の標準化CPUE（漁獲量の最も多い10月の中銘柄（錦のみ小銘柄）の漁獲量に水温と月齢データを加えて解析）から、動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・刺し網の漁期制限（10月～4月）および制限頭胸甲長42mm以下（公的規制）

将来考えられる資源管理の取組

- ・制限頭胸甲長の引き上げ
- ・操業漁場の制限
- ・共同操業の推進